

韓国 HPH ネットワークより 見学、医師・看護師など 24 名

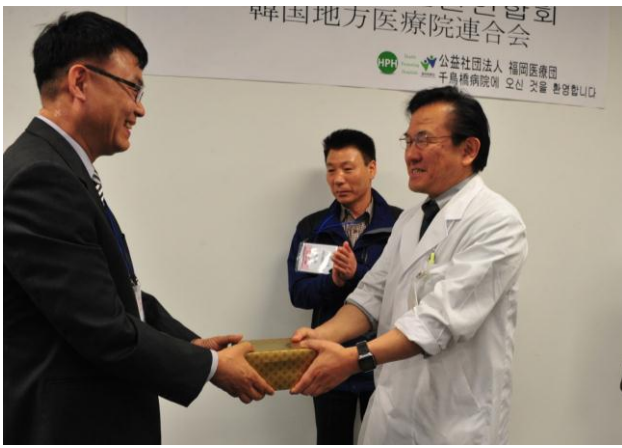


4月23日、韓国 HPH ネットワークより 24 名が千鳥橋病院に見学に来られました。見学に来られたのは韓国全国地方医療院連合会（日本では自治体病院協議会にあたる）の方たちです。4つの病院と韓国 HPH 事務局のみなさんで、医師、看護師、放射線技師、事務など職種もさまざまです。

歓迎レセプションでは、鮫島院長と韓国よりハン訪問団長が挨拶をおこない、記念品をいただきました。舟越 Dr より当院の紹介と合わせ HPH の実践の報告、シャルマンコーポでの地域の保健室の見学、院内見学をおこないました。地域の保健室では管理組合の方や元自治会長の方のお話を直接聞きました。講義後や地域の保健室では、たくさんの質問や意見が出され、活発な論議となりました。質問では「なぜ民間病院なのに HPH なのか。行政がやることではないのか」「千鳥橋病院は地域の方からの要求でできた病院。地域の要求をどのように聞いているのか」などが出されました。

今回見学に来られた方たちは民医連とも共通する目的を持つ病院のスタッフであり、当院のヘルスプロモーション活動、無料低額診療の実践、差額ベッド料をとっていないこと、共同組織の方たちに支えられ運営していることに感銘を受けられ、交流を深めることができました。社会的に困難な人たちに寄り添う医療活動を実践しようとする志を持った人たちが、日本以外の国にもいることは、今後の民医連の医療活動を進める上での励みとなりました。

海外からの HPH に関する訪問団は 3 回目となり、実り多い受け入れとなりました。



ハン訪問団長より院長へ贈り物が手渡されました。



報告を熱心に聞く訪問団の方たち。



地域の保健室でも熱心な討論がされました(写真上下)。



ベ Dr は診療の合間に協力いただきました(写真上)。ハンゲルのスライドでプレゼンする舟越 Dr (写真左)。



東5病棟ではノーリフトの取り組みについて実践を交えながら報告。



交流会♪



言葉の壁を越え、交流を深めることができました。友の会の前野さんより三味線を弾いて頂き、春休みに韓国の大学に行ったばかりの医学生も参加しました。

